

目次

概要	2
予算特別委員会	3~5
代表・一般質問	6~11
常任委員会の活動記録	12・13
審議結果、請願、 特別委員会の活動記録	14・15
お知らせ	16

No.233

2022年(令和4年)4月21日

令和3年 第1回臨時会

令和3年12月27日

令和4年 第1回定例会

令和4年2月16日~3月15日

みなと 区議会だより

令和4年度予算総額
2,065億8,299万2千円を可決

港区議会
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話03-3578-2920 FAX 03-3578-2932

○ホームページ
<https://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

○フェイスブック
<https://www.facebook.com/minatokugikai/>



●今月の写真●

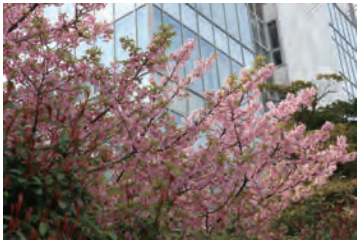
作品名「芝公園の梅とメジロ」
君島 良一さん

表紙をあなたの写真で飾りませんか?
【写真のテーマ】私が好きな港区の風景
(発行月の季節にあった風景)
詳しい応募方法は、お問い合わせください。
問い合わせ先
区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

会議日程

令和3年第1回臨時会

- ◇ 12月27日… 議会運営委員会・本会議
会期決定 諸報告
議案等付託
総務・保健福祉常任委員会
議案等の審査
委員長報告
議会運営委員会・本会議
議案等の議決



令和4年第1回定例会

- ◇ 2月16日… 議会運営委員会・本会議
会期決定 諸報告
区長所信表明
- ◇ 17日… 本会議
代表・一般質問4名
- ◇ 18日… 議会運営委員会・本会議
代表・一般質問6名
議案等付託
予算特別委員会の設置
- ◇ 21日… 4常任委員会
議案等の審査
- ◇ 22日… 建設常任委員会
議案等の審査
- ◇ 24日… 総務・保健福祉常任委員会
請願等の審査
- ◇ 2月28日、3月1日～4日、7日～9日
… 予算特別委員会
予算4案の審査
- ◇ 3月10日… 議会運営委員会・本会議
追加議案等付託
総務・保健福祉常任委員会
議案等の審査
- ◇ 11日… 予算特別委員会
修正案3案・予算4案の審査
- ◇ 14日… 4常任・5特別委員会
議案等の審査
委員長報告・中間報告
- ◇ 15日… 議会運営委員会・本会議
議案等の議決

臨時会・定例会の概要

臨時会

令和3年12月27日に開かれた第1回臨時会において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給に係る専決処分、補正予算など3件を原案どおり可決・承認しました。

定例会

令和4年第1回定例会は、2月16日から3月15日までの28日間にわたって開会されました。
初日に区長から所信表明がされた後、10名の議員から区長、教育長及び選挙管理委員会委員長に対して、代表・一般質問が行われました。
区長から提出された案件は、審議した結果、条例制定・条例改正・補正予算など38件を原案どおり可決・承認し、予算4案を可決しました。
そのほか、追加提出された人事案件は、監査委員の選任に同意し、人権擁護委員候補者の推薦について7件を可決しました。
皆さんから提出された請願は、15件を継続審査としました。また、1件の取り下げを承認しました。

予算特別委員会の概要

2月18日の本会議において、全議員34名で構成する「令和4年度予算特別委員会」（小倉りえこ委員長、石渡ゆきこ副委員長、福島宏子副委員長）を設置し、2月28日から3月11日まで審査が行われました。

委員会開会に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止に、より一層努めるため、委員会室よりも広い議場で開会しました。

この中で、一般会計予算、国民健康保険事業会計予算、介護保険会計予算の3案に対し、共産党議員団の風見委員ほか2名から修正案（一般会計歳入歳出＝20億3,480万2千円増、国民健康保険事業会計歳入＝国民健康保険料7億5,235万円減・繰入金7億5,235万円増、介護保険会計歳入＝介護保険料6億4,600万円減・繰入金6億4,600万円増）が提出されました。

3月11日の予算特別委員会最終日において、各会派が修正案及び予算原案に対して態度表明を行い、引き続き採決しました。採決した結果、修正案は賛成少数で否決され、原案は賛成多数で可決されました。

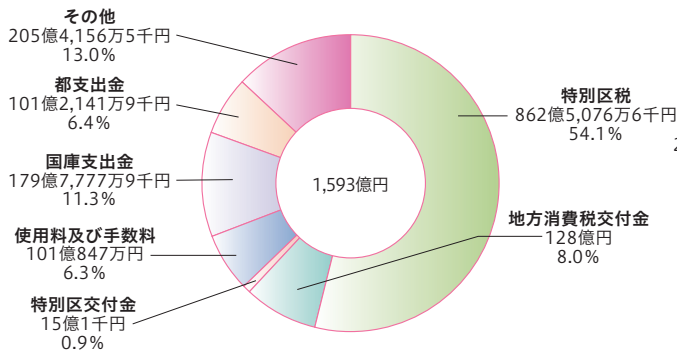
その後、3月15日の本会議において、予算4案がそれぞれ賛成多数で原案のとおり可決されました。



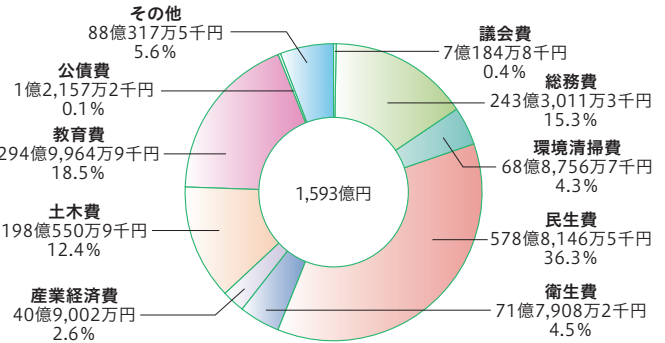
令和4年度各会計予算の概要

会計別	予算額	対前年度当初予算増減率
一般会計	1,593億円	△1.9%
国民健康保険事業会計	238億2,303万7千円	2.5%
後期高齢者医療会計	61億6,542万6千円	7.1%
介護保険会計	172億9,452万9千円	1.9%
合計	2,065億8,299万2千円	△0.9%

一般会計 歳入 予算額



一般会計 歳出 目的別予算額



令和4年度予算に対する 各会派の態度表明

- ◆◆ 自民党議員団 ◆◆

港区ならではの施策を将来にわたり安定的に推進し、自民党議員団からの質問、要請等が積極的に反映されることを前提とし、予算原案4案に賛成。修正案に反対。
- ◆◆ みなと政策会議 ◆◆

港区だからこそできる全国をリードするような先進的な事業、子どもを産み育てやすい港区にするための事業の更なる検討をお願いし、予算4案は賛成。修正3案は反対。
- ◆◆ 公明党議員団 ◆◆

修正3案は財政運営の観点から疑問があり反対。我が会派の意見、要望、そして提案が十分反映されるよう要望し、令和4年度予算原案4案について、いずれも賛成。
- ◆◆ 共産党議員団 ◆◆

国民健康保険料は介護分も含め平均3,558円上がり負担増。市街地再開発へは約43億円の税金を投入。コロナの収束も見えず、くらし応援の区政に転換する決意で予算4案には反対。
- ◆◆ 都民ファーストの会 ◆◆

時代の変化に対応した街づくりが今後も必要であることから修正案に反対。我が党の意見・要望・提案が反映されることを期待して予算原案に賛成。
- ◆◆ 街づくりミナト ◆◆

再開発事業等への相違から修正案は反対する。予算原案は街に賑わいを創出し、港区に誇りを持つ予算と評価し、多様な参画と協働と品格ある街づくりに期待し賛成する。
- ◆◆ 虚偽報道に負けない会 ◆◆

修正案は「高齢者医療費負担ゼロ」を謳う等、その理念に賛同出来ないため反対。原案4案は、将来の港区を志向するに相応しい、意欲的かつきめ細やかな編成と評価し賛成。
- ◆◆ 日本維新の会 ◆◆

令和4年度予算案には、多くの要望が反映されたことに感謝するとともに、柔軟な運用をお願いし、予算4案に賛成する。修正案は、財源等に対する考え方の違いから反対する。

※スマイル党につきましては、欠席のため態度表明ができませんでした。

予算特別委員会

～各会派の質問・要望事項～



※質問・要望事項は要約して掲載
しています。詳しくは、左の二次
元コードを読み取り「動画配信」
をご覧ください。

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の表記は「東京2020大会」で統一しています。

※「国民健康保険事業会計」の表記は「国保会計」で統一しています。

●●● 自民党議員団 ●●●

歳入 ◆地方消費税交付金◆特別区民税収入

総務費 ◆東京2020大会が港区にもたらしたレガシー◆
港区に必要な施設の確保策◆オール港区で実施するス
ポーツイベント実行体制◆札の辻スクエアの民間連携床◆
指定管理者制度の見直し◆DX(デジタル・トランスフォー
メーション)◆コロナ禍における全国連携の取組◆全国連携
による飲食店応援補助事業◆区が主体となった防犯カメラ
の設置◆防災◆SNSによる情報発信◆衆議院の選挙区割り◆
予算編成過程の公開◆文化行政◆文化財の保護・活用と文
化振興の一体的な推進◆人材育成◆港区再犯防止計画の策
定◆平和推進事業◆町会の連合化◆国有地の取得

環境清掃費 ◆お台場プラージュ◆清潔なまちの実現◆使用
済みペットボトルの水平リサイクル◆積極的な木材の利用
に繋がる庁内の情報共有・連携◆木材利用の効果の発信

民生費 ◆子育て世帯における所得制限の考え方◆子ども
一人ひとりに焦点を当てた政策◆民生委員・児童委員欠員
等の現状の課題認識◆夫婦になる学び◆親になる学び◆子
ども家庭支援体制の充実◆介護事業者向けの介護ロボットや
ICT機器導入支援事業◆高齢者デジタルデバインド解消事業◆
港区の子育て支援における所得制限の考え方◆いきいきプ
ラザの整備方針◆いきいきプラザの新規開設に関する要望
◆介護保険事業者の安全な職務環境確保の支援◆港区シル
バー人材センターの支援

衛生費 ◆不妊治療の保険適用◆港区のネズミと衛生害虫

◆新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養支援◆保健
師の活動・人材育成◆福祉総合窓口の開設

産業経済費 ◆ウクライナ情勢の影響を踏まえた区内中小
企業の支援◆プレミアム付き区内共通商品券◆電子商品券
の更なる普及◆区内飲食店の人材確保◆区内観光業の支援

土木費 ◆品川駅周辺のまちづくり◆環状第4号線延伸事業
港南区間◆仮設スムーズ横断歩道の実証実験◆土木分野へ
のAI技術の導入◆景観表彰制度の取組◆自転車の安全と駐
車環境◆まちづくりにおける3D都市モデル(プラトー)の活
用◆広告収入の拡大◆品川駅から高輪ゲートウェイ駅まで
のまちづくり

教育費 ◆中学校の部活動の在り方◆部活動指導環境の整
備◆学校施設開放◆学校と生涯学習スポーツ振興課の役割
分担◆運動する場所の確保◆港区電子図書館◆スポーツ事
業などを運営する団体への支援◆オンラインキャリア教育
◆小学校における空手授業◆部活動を学校の外へ出す取組
◆中央図書館機能の移転と新しい三田図書館◆芝浜小学校
と芝浦小学校◆GIGAスクール推進◆教員の負担軽減◆文化
財◆教育委員会として芸術文化の振興を区長部局が担うメ
リットの評価と課題◆ESD(持続可能な開発のための教育)
の推進◆環境問題と食育を関連付けた子どもたちの意識啓
発◆増上寺徳川霊廟写真集の活用◆あぎる野市みなと区民
の森での環境学習

●●● みなと政策会議 ●●●

歳入 ◆ふるさと納税の活用◆特別区民税収入の分析

議会費 ◆オンライン議会の開催

総務費 ◆共通投票所の導入◆外国人の声を区政に反映する
仕組み◆AIを活用した防犯カメラの設置◆ソーシャルイン
パクトボンドの活用◆企業やNPOの力を生かしたまちづく
り◆区におけるUXの改善◆人口減少の要因と見直し◆外国
人向けコンシェルジュの設置◆職員の防災訓練◆孤独・孤
立対策◆リーブラの運営改善◆区の備蓄物資の活用状況◆令
和4年度予算編成の考え方◆防災関係団体との連携◆帰宅困
難者対策◆コロナ禍の文化芸術支援

環境清掃費 ◆喫煙所の収益化◆喫煙所のはみ出し喫煙対策
◆改正動物愛護法への対応◆コミュニティコンポストの全区
的普及◆繁華街の美化◆生物多様性を体感する場の増設◆羽
田空港機能強化に関する区民意見募集の結果を国へ◆鳩対策

民生費 ◆児童手当の特例給付廃止に伴う支援◆子育て世帯
への臨時特別給付金の所得制限撤廃◆少子化対策としての
出会い応援◆福祉総合窓口設置◆保育園のコロナ対応◆重
度知的障がい者グループホーム設置◆生活保護申請の分析◆
高齢者・障がい者理美容サービス改善◆エンジョイ・セレ
クト事業拡充◆ヤングケアラー支援◆ひとり親世帯支援拡
充

衛生費 ◆医療ビッグデータの積極的活用◆3歳児健診の拡
充◆母子手帳を親子手帳へ◆保険適用以降の不妊治療支援◆
コロナ対策の政策効果検証◆子どもの新型コロナワクチン
接種◆がん対策の情報発信

産業経済費 ◆ビジネス交流会◆港区らしいスタートアッ
プ支援体制◆区内共通商品券の電子化◆中小企業DX促進支
援◆産業振興センター周知啓発

土木費 ◆神宮外苑再開発の樹木保存◆青葉公園の防災倉庫◆安全な自転車走行空間整備◆コロナ禍の公園封鎖の効果検証◆インクルーシブ公園整備◆港にぎわい公園づくり推進計画の早期着手◆お台場レインボーバス利用促進◆住宅セーフティネット整備◆神宮外苑のスポーツ施設◆道路通報システムの機能拡張

教育費 ◆学校図書館の司書・支援員の拡充◆学校紹介の充実◆子どもの体力向上◆日本の研究力と理科教育◆芝浜小学校の通学路◆GIGAスクール推進事業◆特色ある幼稚園づ

公明党議員団

歳入 ◆特別区民税収入◆港区版ふるさと納税

総務費 ◆区政に役立つアプリの普及啓発◆発災直後の帰宅困難者対策◆特殊詐欺防止の取組◆子どもに向けた情報発信

環境清掃費 ◆建築物の低炭素化の促進◆アスベスト飛散防止対策強化の法改正◆屋外指定喫煙場所の密閉化◆陶磁器・ガラス類の資源回収

民生費 ◆高齢者デジタルデバイス解消事業◆放課後等デイサービス事業者の支援◆高齢者福祉理美容サービス◆福祉の相談窓口◆介護事業所との災害時協力協定◆受験生のある家庭への相談体制

衛生費 ◆带状疱疹ワクチン接種費用助成◆禁煙外来治療費助成◆流産・死産のケア

共産党議員団

総務費 ◆特別養護老人ホーム等の指定管理期間を延ばすこと◆区民まつりの障害者団体テント料を無料に

環境清掃費 ◆都心低空飛行をやめること◆マイボトルが扱える給水スポットの設置を

民生費 ◆18歳までの医療費無料化を◆ひとり暮らし高齢者の支援を◆区有施設の自動販売機は障害者団体の設置に◆いきいきプラザへの送迎バス運行を

衛生費 ◆区民健診に聴力検査を加えること◆住宅宿泊事

都民ファーストの会

総務費 ◆ペットの災害時の避難所

環境清掃費 ◆家具リサイクルにジモティーを

民生費 ◆車椅子住宅◆休日保育

街づくりミナト

環境清掃費 ◆有栖川宮記念公園のブルーギル駆除◆食品ロス削減啓発グッズ

土木費 ◆有栖川宮記念公園の夜間防犯対策

日本維新の会

総括質問 ◆日本の安全保障と平和都市宣言◆日本の安全保障と米軍基地撤去要請行動

くり◆特別支援コンシェルジュ◆学級崩壊のサポート体制◆いじめ・不登校対策◆令和の日本型学校教育◆就学援助の拡大◆給付型奨学金制度の活用

総括質問 ◆コロナ後の社会に向け積極的財政出動を◆中小企業の支援強化を◆所得に関わらず子育て世帯を対象にしたコロナ支援を◆区のDXに向けた体制強化を◆脱炭素先行地域認定に向けた取組を◆イノベーション人材育成教育を◆児童相談所の業務効率化と家族支援を

産業経済費 ◆商店街の消費喚起◆女性のデジタル人材育成と就労支援◆下請けGメンの周知

土木費 ◆ブロック塀の所有者に対する支援◆区民向け住宅入居者募集のオンライン化◆神宮外苑の再開発◆降雪による路面凍結防止◆ドッグラン内の事故の未然防止

教育費 ◆再開発におけるスポーツ施設の地域貢献利用◆コロナ禍での教育環境

国保会計 ◆国民健康保険におけるマイナンバーカードの利活用

総括質問 ◆予算執行に当たっての区の取組姿勢◆個人情報保護制度の運用◆シェアサイクル事業者との災害時協力協定◆ケースワーカーの体制

業者にフロントの設置を義務化すること

産業経済費 ◆インボイス制度見直しを国に求めること◆シルバー人材センターへの資金支援を

土木費 ◆芝浦四丁目の新芝運河沿い緑地の整備

教育費 ◆就学援助の基準を引き上げること

国保会計 ◆子どもの均等割をなくすこと

総括質問 ◆神宮外苑の再開発を止めよ

土木費 ◆公園の芝生の改善◆無電柱化推進

総括質問 ◆児童手当の制度の仕組みと所得制限の改善を国に求める◆保育の質と利便性向上◆在宅保育と保育所

教育費 ◆区立幼稚園の定員割れと将来のあり方

総括質問 ◆設計プロポーザル方式による公衆トイレの改修◆(仮称)文化芸術ホールの気運醸成事業

代表・一般質問

2月17・18日

※代表・一般質問は要約して掲載しています。詳しくは、右の二次元コードを読み取り「動画配信」をご覧ください。

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の表記は「東京2020大会」で統一しています。



自民党議員団

区の今後の人口予測について

Q.人口予測について

A.区の人口は令和2年5月をピークに人口減少傾向が続いている。外国人人口の減少や、テレワーク普及による地方移住志向の高まりが起因していると分析。今後の景気回復や出入国制限の解除に伴い、増加傾向に転じると予測している。

新型コロナウイルスワクチン接種について

Q.接種率向上について

A.交互接種の安全性や有効性など正しい情報を積極的に発信し、安心して接種してもらえるよう取り組む。5歳から11歳の子どもへの接種も早い段階で接種券を事前に送付した。保護者に向けた情報提供も行う。

Q.「誰でも接種」の3回目実施について

A.ワクチンの供給と区民への接種状況を見ながら、予約なしでの接種を含め、区のエリア全体での接種率向上に積極的に取り組む。比較的配分数の多いモデルナ社製ワクチンの積極的な接種を促すため、取扱医療機関の拡大にも取り組む。

Q.子ども関連施設で働く職員の対応について

A.児童がワクチン接種をした場合の副反応の事例や発生時の対応について保護者に周知し、職員間でも把握する。体調変化を見逃さないよう丁寧に経過観察するとともに、遊びや活動の配慮をする。



難聴高齢者への支援について

Q.「港区モデル」について

A.補聴器の耐用年数の5年を経過した場合に再度助成を受けられるなど、多くの高齢者が補聴器を安心して使い続けられる制度としていく。

Q.補聴器購入費助成制度の丁寧な周知について

A.広報紙や高齢者施設での周知はもとより、「聞こえのチェックリスト」リーフレットを配布し、難聴に気付く機会を提供する。また、公開講座や区内医療機関でも制度の案内をする。

Q.認定補聴器技能者が在籍する販売店を増やす取組について

A.認定補聴器技能者が在籍する店舗が増えれば、区民がより安心して購入できたり、制度の充実に繋がる。区の制度の趣旨を説明し協力を求めるとともに、制度を利用できる販売店の増加に向けて継続して取り組む。

在宅介護事業者について

Q.安全確保に関する調査及び区の支援について

A.区が3月に実施している介護事業者向けアンケートでは、今年度新たに、訪問看護員等の安全に係る項目を追加し実態を把握する。アンケート結果から課題を分析し、区は、各事業者による安全確保の取組を支援していく。

3歳児健康診査について

Q.健診の拡充について

A.来年度は健診日を平日午前、土曜又は日曜にも設定し、未受診者は個別医療機関で受診した経費の補助を新たに開始する。受診率9割の達成を目指し、区民ニーズを踏まえて積極的に取り組む。



マイナンバーカードについて

Q.普及について

A.港区の交付率は、全国平均の41.7%を上回る52.4%。令和4年度中には、転出・転入手続のワンストップ化やがん検診等の受診結果閲覧サービスを開始する。

サプライチェーンについて

Q.契約の在り方について

A.物品の供給不足が予想される場合、早期の発注など迅速・的確に対応する。

神宮外苑地区について

Q.市街地再開発事業について

A.身近なスポーツ等を楽しめる中央広場の整備など、活力と風格あるまちづくりを進めるものと認識している。歴史ある緑豊かな景観や周辺環境について配慮を求め、人々が憩い交流できる魅力ある空間となるよう事業者を指導する。



指定管理者制度について

Q.運用見直しについて

A.高齢者施設の指定期間の長期化に向けた検討を行っている。その他の施設においても、運営実績の

評価の数値化や評価結果を次回
の選考に反映する手法について検
討する。

町会・自治会について

Q.情報提供のあり方について

A.町会等が実施した成功事例を紹
介する冊子を全町会等に配布し、
今後とも町会等の実情に応じた情
報提供を行う。

区内共通商品券について

Q.電子商品券のデータ活用について

A.今後はデータを活用し、電子商品
券の新規取扱店舗の開拓や販売
対象者の検討など、店舗及び利用
者のニーズに合った商品券事業と
なるよう充実を図る。

Q.課題と今後の改善点について

A.区民からのご意見を踏まえ、より
多くの人に喜ばれる事業となるよ
う、わかりやすいシステムへの改
善、紙と電子の発行割合などにつ
いて引き続き協議していく。

Q.商店街への継続した支援について

A.商店街が現在の危機を乗り越え、
にぎわいを創出できるよう商品券
事業をはじめ、港区商店街連合会
の取組を引き続き支援する。



観光事業者について

Q.コロナ禍における支援について

A.区内宿泊施設への宿泊を促進す
るため、キャンペーンで宿泊料を補
助するほか、観光や買い物、食事
を楽しんでもらうことで観光施設
や飲食店等に関わる事業者を支
援し観光需要の回復に繋げる。

産業振興センターについて

Q.今後の施策展開について

A.区内事業者が金融機関の職員に融
資や創業等を相談できる無料相談
ブースを設置したり、事業者同士の
マッチングを促進することにより新
たなイノベーションの創出を図る。



防犯カメラについて

Q.貸し出し事業の新設について

A.現行の防犯カメラ助成制度は、短
期間の契約による設置・管理でも
助成の対象となる制度としており、
一時的に発生している不法投棄な
どの防犯対策にも活用していただ
けるよう利用促進を図る。貸し出し
事業は他自治体の状況やニーズを
踏まえ調査研究していく。

清潔なまちについて

Q.実現について

A.区が先頭に立ち、地域の住民、企業
をはじめ警察や国・東京都などの関
係機関と一体となり、早朝清掃や不
法投棄が頻発する場所での重点的
な注意喚起など、あらゆる視点から
対策を推進し、これまで解決が困難
だった状況を改善する。

子どもたちについて

Q.子どもたちの意見を政策に反映する 取組について

A.今まで以上に自分の意見を表明で
きる身近な機会を創出し、子ども
たちの意見を受け止めた施策等の
展開ができる仕組みを検討する。

Q.体力低下問題について

A.運動の日常化に向けた取組を来年
度の教育課程の重点の一つとする
よう幼稚園、小・中学校に働きか
けており、特色ある取組を検討し
ている。

自転車駐車場について

Q.自転車駐車場を増やす取組について

A.駅周辺を中心に自転車等駐車場

約7,300台分を整備してきた。令
和5年4月には、一の橋公園内に
400台の機械式自転車駐車場を
開設予定。今後は、大規模開発に
おいて整備された施設利用者向
けの自転車置場についても、広く
区民が民設民営の自転車等駐車
場として利用できるよう開発事業
者との連携を進める。



脱炭素社会の実現について

Q.実現に向けたまちづくりの取組につ いて

A.港区建築物低炭素化促進制度に
より、環境性能の高い建築物を増
やすとともに、緑豊かな空間形成
や多様な交通手段を利用しやすい
環境整備など、大規模開発等のま
ちづくりの機会を捉えながら、区
民・事業者・行政が連携し、脱炭
素の取組を進める。

みなと政策会議

令和4年度の財政運営について

Q.全体として所得環境の改善が見ら
れる目下の経済の状況を考えて、
コロナ後の未来を見据えた対応も
必要。令和4年度の財政運営は

A.過去最高額となる815億円を計上
した特別区民税収入を背景に、感
染症の影響から区民の命と健康
を守る取組と、区民生活や地域経
済を支える取組を最優先に進める
とともに、新たな社会課題にも積
極的に対応できる財政運営を行っ
ていく。

基金の効果的な活用について

Q.コロナ禍で厳しい財政状況に立た
されている方々に活用してほしいが、今
後の基金の効果的な活用は

A. 長引く感染症の影響を受けている
 区民生活の実態に即した必要な支
 援をはじめ、震災や将来の施設需
 要への備えとしての基金を効果的
 に活用することで、変化する社会
 情勢にも積極的に対応していく。

公文書管理について

Q. 公文書管理条例の制定を

A. 必要に応じ、規定を整備する等、
 適正に公文書を管理し、区政の信
 頼確保に努める。

町会・自治会改革について

Q. 町会・自治会にとってアフターコロ
 ナ時代にふさわしい活動内容、方
 法、組織運営などの自己改革を進め
 るチャンス。様々な支援を

A. 町会・自治会の現状及び抱える課
 題、個別の実情を踏まえた上で、
 地域の新たな価値の創造や課題
 解決に取り組むための支援が必要。
 今後も、町会・自治会活動を丁寧
 に支援していく。

参画と協働に向けた職員の 説明力について

Q. 区民参画組織や住民説明会などに
 おける区民への説明の仕方は、内部
 で研修を進めるなどしていく必要が
 あると思うが、区長の考えは

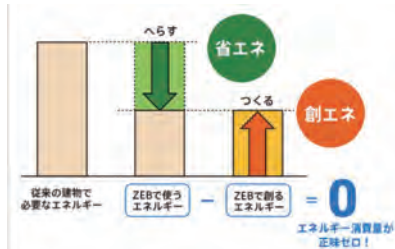
A. 区民との合意形成を図るには、職
 員の区民に寄り添う姿勢と、区の
 考えを正確に、わかりやすく伝える
 説明力が重要。研修内容の充実に
 より、職員の更なる説明力の向上
 に努めていく。

ゼロカーボンシティの実現に に向けた取組強化について

Q. 二酸化炭素の排出削減は、2050
 年までの実質ゼロを目指しつつも、
 2030年までの10年が重要とされ、
 区の率先した取組が求められるが、
 取組の現状と今後の計画は

A. 環境性能の高い区有施設の整備
 や使用電力の見える化、積極的な
 再生可能エネルギーの導入など
 に取り組んでおり、来年度には、
 全ての区有施設の再生可能エネ
 ルギー100パーセント電力への転
 換や、庁有車の電動化を実施す
 る。今後は、区有施設の整備に際

して、これまで以上に環境性能が
 高いZEB^{*1}水準を目指すほか、職
 員、指定管理者等による省エネ行
 動基準の徹底など、運用面での
 取組を強化することで、温室効果
 ガスの削減を一層推進していく。



「ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の説明図。
 (「省エネ」のみのビルは「ZEB Ready」という。)

Q. 港区環境基本計画で区有施設の整
 備・改修の機会を捉えてZEB化を進
 めることとしているが、今後、どのよ
 うな具体的かつ統一の方針をもって
 区有施設のZEB化を進めていくのか

A. 今後は、区有施設整備に際して
 確保する環境性能を定めた港区
 環境配慮ガイドラインにおいて、
 ZEB水準を目指すことを明示し、
 これまで以上に省エネ効果の高い
 建物を実現していく。



都内初「ZEB Ready」を採用した区立保育園である麻布保育園

区有地に誘致した民設民営の 特別養護老人ホーム等に対する チェック機能強化について

Q. 区が区有地に定期借地権を設定し
 て誘致した民設民営の特別養護老
 人ホーム等は、事業者選考の時点で
 優れた提案をした事業者を選考し
 たとしても、50年間という長い時間
 の経過とともに当初の志が薄れ、利
 用者の声を踏まえた必要な改善を
 怠ってしまうリスクがある。区は、土
 地所有者としてチェック機能を確保し、
 必要があれば契約解除も辞さない
 との強い姿勢で臨むべき

A. 施設を利用する高齢者が、質の高
 いサービスを受けながら安全で安
 心して暮らし続けられるよう、事業
 者への管理監督を徹底していく。

観光業への支援について

Q. コロナ禍で苦境にあえぐ区内観光
 業に更なる支援を

A. 区内宿泊施設を活用した観光事業
 者の支援として、「トキメク、ミナト
 ク。お得に宿泊キャンペーン」を実
 施する。また、まち歩きツアーを通
 じ、区内の周遊を促し、様々な観光
 事業者の支援に繋げていく。

マンション管理適正化推進計画 の策定について

Q. 法改正により可能となったマンショ
 ン管理適正化推進計画を早期に策
 定し、区内のマンション管理組合へ
 支援を

A. 令和4年度には新たにマンション
 管理適正化推進計画を策定し、計
 画に基づき、管理組合にマンショ
 ンの管理の適正化に向けた助言・
 指導や良好な管理計画を有するマ
 ンションの認定を行うことで管理
 組合を適切に支援していく。

神宮外苑再開発計画について

Q. 892本も伐採される計画であること
 がメディア等で取り上げられ、厳し
 い声が高まっている。事業者には設
 計をより丁寧に作りこんでいくよう、
 区として働きかけを

A. 設計等の具体化に当たり、可能な
 限り樹木を保存、移植する等、銀
 杏並木を中心とする神宮外苑の歴
 史ある緑や景観への配慮を求めて
 いくとともに、誰もが憩い、交流で
 ける開放された緑化空間となるよ
 う事業者を指導していく。



神宮外苑の再開発計画

*1：ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
 ⇒エネルギー消費量を軽減・効率化し、さらに太陽光発電などの創エネと両立することでエネルギー収支をゼロにすることを旨とする建物のこと

孤独・孤立対策について

- Q. 政府が孤独・孤立対策重点計画を決定し、「居場所づくり」の推進等を盛り込んでいるが、区としても一人暮らしや「孤独・孤立」対策をすべき
- A. 国の動向を注視し、区民一人ひとりに寄り添う施策を切れ目なく届け、孤独や孤立の防止に繋げる。

災害対策住宅について

- Q. 夜間や休日など区の職員が勤務していない時間帯に災害が発生した場合に備え、災害対策住宅を確保し、初動態勢を確かなものにしていくべき
- A. 迅速に避難所開設などを行えるよう、来年度見直しを予定する港区業務継続計画を基に、必要な職員数や災害対策住宅の戸数を検討する。

新たな媒体を利用した情報発信の更なる充実について

- Q. Yahoo! JAPANを活用するなど、新たな媒体を活用して情報発信の更なる充実を目指すべき。
- A. サービスの運用方法や費用などを確認した上で、活用する方向で準備を進めていく。

AIの活用について

- Q. 行政サービスの充実を図る上で、AIの活用を検討すべき
- A. 現在も活用中。今後も最新技術の情報を収集し、各分野で活用し、区民サービス向上や業務効率化に取り組む。

小・中学生のインターネット・オンラインゲームに関する実態調査後の取組について

- Q. 小・中学生のインターネット及びオンラインゲームに関する実態調査の取組の方向性を問う
- A. ゲーム等に対する理解や適切な使い方について学べる具体的な取組を積極的に進めていく。



コロナ禍でのタブレット端末の今後の活用について

- Q. 小・中学生の保護者に対して子どもたちの生活に関する実態調査の結果を踏まえて、タブレット端末の今後の活用方法等、指導すべき
- A. これまでの端末の活用から明らかとなった課題の解決策など、今後を見据えた区独自の具体的方針を定めていく。



公明党議員団

シビックプライドの取組について

- Q. 住民の地域愛を高め、転出を抑制するため更なる推進を
- A. まちの魅力を一層高め、誰もが地域に愛着と誇りを持てる港区を次世代に継承する。

若者の投票率向上への取組について

- Q. 若年層の投票立会人の起用促進を積極的に図るべき
- A. 他の自治体の取組や成果を調査研究する。

鳩への過剰な餌やりについて

- Q. 禁止する条例制定の検討を
- A. 他自治体の条例や取組事例等調査し、対応策を検討する。

介護職員の処遇改善の取組について

- Q. 事業者の加算取得推進を
- A. 関係機関と連携強化し、処遇改善加算等取得を促進する。

子どもを中心とした社会づくりについて

- Q. 国や東京都が進める子どもを中心とした社会づくりに対して、区として

今後どのように取り組んでいくのか

- A. 未来を担う全ての子どもたちが健やかに成長できる地域共生社会の実現に取り組む。



高校生医療費無償化について

- Q. 区はどのように対応していくのか
- A. 東京都と意見情報交換をする。

弱視対策機器について

- Q. 関係団体との連携や区有施設での活用法はどのようにしていくのか
- A. 視覚障害者の意見、開発企業の説明を受け調査研究する。

母子健康手帳の充実について

- Q. 東京都の子供手帳モデル活用支援事業を活用し、電子手帳も含め低出生体重児、難病児、障がい児等に対応する記録、さらに学齢期にも対応する記録欄など内容の充実を
- A. 補助制度も積極活用しながら区の状況に応じた内容の充実を検討する。



5歳から11歳へのワクチン接種について

- Q. 接種小児科の拡大と親へのきめ細かな周知相談体制を
- A. 接種小児科の拡大を図り、あらゆる施設で丁寧に周知する。

成年年齢下げと消費者教育について

- Q. 区内私立高校等へ促進を
- A. 動画や区職員の出前授業の利用を積極的に働きかける。

ちいばすの利便性向上の取組について

Q. アプリの普及啓発を

A. 情報発信に努め、デジタル支援員などとも連携する。

パラリンピック教育について

Q. 区民パラアスリート活用等学校教育のレガシー継承を

A. 特色ある取組を教育課程に位置付け、未来に継承する。

令和4年度予算について

Q. 新年度予算に込められた区長の思いと決意について

A. 笑顔とまちのにぎわいがあふれる港区を思い描き、予算を積極的に編成した。

転出超過について

Q. 転出超過の受け止めは

A. 景気回復や開発などに伴い、再び転入超過に転ずると予測している。

ワクチン3回目接種について

Q. 交互接種の有効性や安全性など積極的な周知について

A. 国や東京都の周知活動に併せ、区も積極的に周知していく。

Q. 訪問接種の拡充について

A. 訪問接種の頻度を高め、接種体制の充実に努めていく。

「ウェアラブル機器」の導入について

Q. ウェアラブル機器の導入による健康観察を検討すべき

A. 導入している自治体の動向を注視し、情報収集に努める。



区民向け住宅入居者募集のオンライン申請について

Q. オンライン申請できるよう導入に向けて検討すべき

A. 6月に予定している区民向け住宅入居者募集からオンライン申請を実施していく。

子どもホームページの作成について

Q. 子どもへの区政情報の発信となるような「子ども向けホームページ」の作成を

A. ホームページ作成も含め、子どもに向けた情報発信について様々な角度から検討する。

共産党議員団

新型コロナ対策について

Q. 陽性時、年齢を問わず宿泊施設か入院を基本にすべき

A. 50歳以上の重症化リスクのある方を優先的に迅速な入院につなげている。65歳未満の宿泊療養希望者は、東京都の宿泊療養施設に直接申込む体制。

都立病院を守ることについて

Q. 東京都は都立、公社病院15の廃止条例案を2月議会に提出。独立行政法人化はやめるよう東京都に申し入れること

A. 広尾病院は、区民に質の高い医療サービスを提供している。独立行政法人化をやめるよう東京都に申し入れる予定はないが、サービス低下がないよう東京都に要請した。都立病院が果たす役割を今後も果たすよう要請する。



都立・公社病院守れ 都庁前行動

都心低空飛行はやめ、海上ルートの利用を

Q. 昨年の訪日外国人は、2019年比99.2%減。飛ぶ必要はない。成田空港で部品落下事故が起きた。海上ルートを活用を国に要請すること

A. 区民意見募集を実施した。落下物への懸念や騒音問題について、国

に対して区民からの声を届け、求めてきた。

18歳までの医療費無料化について

Q. 東京都は2023年度から、医療費助成の対象を18歳まで拡大の方針を示した。東京都の実施を待たず港区独自で4月から実施すること

A. 東京都からは制度の詳細が示されていない。情報を収集する。

高輪築堤の完全保存と公開を

Q. 海の中に土手を築き、その上を鉄道が走るのは、世界の鉄道史に残る極めて貴重なもの。5、6街区の試掘で築堤跡が発見されたら、完全保存に向けた方策を検討すべき

A. 教育委員会から高輪築堤跡の現地保存を考慮した開発計画を策定するようJR東日本に要望書を出している。



出土された枕木とレール

シルバー人材センターの仕事確保について

Q. 産業振興センターが開設し、勤労福祉会館の受付業務13名の仕事が奪われる。指定管理者公募要項の「シルバーへの優先発注」を指定管理者に守るよう指導し、区が責任をもって仕事を確保すること

A. 優先発注の趣旨を踏まえるよう指定管理者に求める。

生理用品を区有施設のトイレに設置することについて

Q. 区は「オイテル」の活用を検討するとしていた。ジェンダー平等から早急に設置を

A. 「オイテル」の導入は、5月頃庁舎内の構造上可能な場所に設置する。

街づくりミナト

選ばれる都市と住み続けられる都市の関係について

- Q. 高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるための住宅政策について
- A. 既存ストックを活用した高齢型住戸への転用や民間賃貸住宅入居支援事業など、高齢者の住み替えを支援する。

新しい地域コミュニティについて

- Q. 新しい地域コミュニティの声も区政に生かすべき
- A. NPOや子育て支援団体などの地域団体に対しても助成金交付などの支援を行っており、今後も多様な地域団体の活動を支援する。

区立小・中学校の学級運営安定のための取組について

- Q. 学級運営安定のための教育委員会の取組は
- A. ハイパーQU調査により学級の状態を把握し、指導主事の訪問などで組織的な学級運営の推進を支援する。また、来年度4校で実施の教科担任制により複数の教員の目で子どもたちの様子を把握する。



© 株式会社図書文化社

小4～中3で実施するハイパーQU調査

日本維新の会

非常用発電機燃料の劣化問題について

- Q. 非常用発電機燃料が劣化することによって、震災時に非常用発電機が機能しないのではないかと懸念は、日本維新の会が党の政策として採用することとなった。区は、非常用発電機の備蓄燃料の劣化について、どのように対応してい

くつもりか

- A. 非常用発電機においては、稼働確認や燃料の入替え等を行うとともに、劣化については国の対応を注視していく。

下水の未浄化汚水放流問題について

- Q. 東京2020大会のレガシーとして何ら根本的解決への道を示すことができなかったことを残念に思う。区としてデータだけでなく、汚水の放流映像も区民に情報として提供してほしい
- A. 東京都に対し改善を要求するとともに、検討課題とする。



議会人事の動き

会派の結成

2月1日付で新会派が結成されました。新会派の名称及び所属議員は次のとおりです。

『日本維新の会』

所属議員 榎本 茂

会派の構成人数

会派所属議員の異動に伴い、各会派の構成人数は次のとおりとなりました。

自民党議員団	11人
みなと政策会議	10人
公明党議員団	5人
共産党議員団	3人
都民ファーストの会	1人
街づくりミナト	1人
スマイル党	1人
虚偽報道に負けない会	1人
日本維新の会	1人

区議会はどこでも傍聴できます

区議会の会議は原則公開されており、本会議や委員会は傍聴できます。本会議場の傍聴席にはモニターを設置し、区長の所信表明と議員の代表・一般質問時には手話通訳及び字幕もご覧いただけます。

なお、傍聴の際は一席空けてお掛けいただくなど、新型コロナウイルス感染症対策に努めてご案内いたします。

会議の開催予定については、区議会ホームページやポスター等でご案内いたします。

【問い合わせ先】

区議会事務局議事係
電話 03-3578-2915

【各会派の連絡先】

不在の場合は、区議会事務局へ
電話 03-3578-2911

自民党議員団

電話 03-3578-2927
F A X 03-3578-2909

みなと政策会議

電話 03-3578-2938
F A X 03-3578-2949

公明党議員団

電話 03-3578-2935
F A X 03-3578-2937

共産党議員団

電話 03-3578-2945
F A X 03-3578-2947

都民ファーストの会

電話 03-3578-2922
F A X 03-3578-2936

街づくりミナト

電話 03-3578-2948
F A X 03-3578-2854

スマイル党

電話 03-3578-2914

虚偽報道に負けない会

電話 03-3578-2961
F A X 03-3578-2936

日本維新の会

電話 03-3578-3233
F A X 03-3578-2936

常任委員会の活動記録



※議案は概要のみ掲載しています。
詳しくは、左の二次元コードを
読み取ってご覧ください。

●議案名、概要

○主な質疑

総務

《令和3年第1回臨時会》

- 区長報告第10号 専決処分について（令和3年度港区一般会計補正予算（第7号））
歳入歳出それぞれ9億5,227万9千円を追加し、総額をそれぞれ1,752億3,288万5千円とする専決処分

○事務経費の内訳
○分割給付にした理由及び経緯

- 区長報告第11号 専決処分について
令和3年10月15日、港区三田二丁目6番先の特別区道第1,023号線道路上において、赤信号で停止していた起震車が、青信号になり発進しようとしたところ運転操作を誤り後退したため、後続の普通貨物自動車に衝突した事故のうち、車両を損傷させたことについて示談がまとまり、損害賠償額57万9,205円を、令和3年12月17日に専決処分

○自賠責保険や任意保険への区の加入状況
○後遺障害が判明した場合の賠償該当有無

- 議案第104号 令和3年度港区一般会計補正予算（第8号）
歳入歳出それぞれ42億1,100万円を追加し、総額をそれぞれ1,794億4,388万5千円とする

○家計急変世帯に対する申請から給付に要する期間
○封筒の記載方法への配慮

《令和4年第1回定例会》

- 区長報告第1号 専決処分について
令和3年10月25日、港区麻布十番二丁目4番先の特別区道第1,037号線道路上において、清掃車が後進した際、当該清掃車の左後方から当該道路に進入してきた普通貨物自動車に衝突し、当該車両を損傷させた事故について示談がまとまり、損害賠償額23万2,848円を令和4年1月21日に専決処分

- 区長報告第2号 専決処分について
令和3年10月15日、港区三田二丁目6番先の特別区道第1,023号線道路上において、赤信号で停止していた起震車が、青信号になり発進しようとしたところ運転操作を誤り後退したため、後続の普通貨物自動車に衝突した事故のうち、運転者を負傷させたことについて示談がまとまり、損害賠償額34万2,811円を、令和4年1月21日に専決処分

- 区長報告第3号 専決処分について
区長報告第2号と同じ事案に係る損害賠償額の決定。この事故のうち、同乗者を負傷させたことについて示談がまとまり、損害賠償額32万2,610円を、令和4年1月21日に専決処分

- 区長報告第4号 専決処分について
区長報告第2号と同じ事案に係る損害賠償額の決定。この事故のうち、同乗者を負傷させたことについて示談がまとまり、損害賠償額9万2,535円を、令和4年1月21日に専決処分

- 事故の要因
○当該運転手のマニュアル車操作の熟練度

- 区長報告第5号 専決処分について（令和3年度港区一般会計補正予算（第9号））
歳入歳出それぞれ13億2,035万4千円を追加し、総額をそれぞれ1,807億6,423万9千円とする専決処分

- 区長報告第6号 専決処分について
平成29年10月26日、港区立特別養護老人ホーム港南の郷において、相手方が入浴の際に浴場脱衣所で転倒し、負傷した事故について、和解により解決を図ることとした専決処分

○原告の損害賠償請求金額
○原告の被害状況及び後遺障害の有無

- 区長報告第7号 専決処分について
令和3年6月21日、区が相手方の新型コロナウイルスワクチン接種支援員の採用内定を取り消したことについて、一方的に取り消されたことにより雇用に対する期待権を侵害されたとして、相手方が、区に対し採用の取消しによる損害賠償及び期待権の侵害に対する慰謝料を求めた訴訟について、和解により解決を図ることとした専決処分

○会計年度任用職員の任用手続き
○再発防止策

- 議案第1号 港区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
特別区人事委員会の勧告を踏まえ、職員の仕事と不妊治療の両立を支援するため、不妊治療休暇を新設する

○休暇申請の方法
○上司への口頭申請の必要有無

- 議案第2号 港区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正を踏まえ、非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件を緩和するほか、職員の育児休業を取得しやすい勤務環境を整備するための措置等を定める

○再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員の数
○会計年度任用職員の育児休業取得者数

- 議案第3号 港区常勤の監査委員の給与等に関する条例
「地方自治法」の規定に基づき、区の人口が25万人以上となったことに伴い設置する常勤の監査委員に係る給与等を定めるため、新たに条例を制定する

- 議案第18号 港区監査委員条例の一部を改正する条例
常勤の監査委員の数を定めるほか、議員のうちから選任する監査委員の数を定める

○港区特別職報酬等審議会答申の報告以降の変更有無

- 議案第5号 災害時において応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する

条例

「株式会社日本政策金融公庫が行う恩給担保金融に関する法律」の一部改正により、株式会社日本政策金融公庫等が行う恩給又は共済年金を担保に供する融資の一部が廃止されることに伴い、規定を整備する

- 議案第19号 令和3年度港区一般会計補正予算（第10号）
歳入歳出それぞれ84億9,529万円を追加し、総額をそれぞれ1,892億5,952万9千円とする

- 議案第20号 令和3年度港区国民健康保険事業会計補正予算（第4号）
歳入歳出それぞれ6億7,333万7千円を追加し、総額をそれぞれ241億3,145万8千円とする

- 議案第21号 令和3年度港区後期高齢者医療会計補正予算（第2号）
歳入歳出それぞれ1億983万7千円を減額し、総額をそれぞれ56億4,378万5千円とする

- 議案第22号 令和3年度港区介護保険会計補正予算（第4号）
歳入歳出それぞれ1億498万9千円を減額し、総額をそれぞれ179億6,071万3千円とする

- 議案第27号 工事請負契約の承認について
麻布十番一・二丁目道路整備工事（II期）の工事請負契約の承認を求める

- 議案第28号 工事請負契約の承認について
北青山二丁目道路整備工事（歩道拡幅）の工事請負契約の承認を求める

- 議案第29号 工事請負契約の承認について
港区立北青山高齢者在宅サービスセンター等機械設備改修工事の請負契約の承認を求める
○施設外部の劣化状況

- 議案第30号 物品の購入について
港区立赤坂中学校の移転に伴う備品の整備のため、机 1,094台、椅子 2,513脚、棚321台、その他 41点を購入する

- 議案第31号 物品の購入について
港区立赤坂中学校の移転に伴うちゅう房の整備のため、ちゅう房機器129点を購入する

- 議案第33号 包括外部監査契約の締結について
地方自治法第252条の36第2項の規定に基づき、令和4年度の包括外部監査契約の締結について承認を求める
○被選定者以外の区民応募者の有無
○過去の区民包括外部監査人の有無

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇港区赤坂コミュニティーぶらざ大規模改修工事整備計画の策定
- ◇港区基本計画の見直しに向けた取組

保健福祉

《令和4年第1回定例会》

- 議案第10号 港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例
神応いきいきプラザを新たに設置する
- 議案第12号 港区立保育園条例の一部を改正する条例
台場保育園の改修工事に伴い、同保育園を仮施設へ移転するため、位置を変更するほか、神応保育園を新たに設置するとともに、同保育園に指定管理者制度を導入する
- 議案第14号 港区学童クラブ条例の一部を改正する条例
三光学童クラブにおける学童クラブ事業の終了及び(仮称)港区立神応いきいきプラザ等複合施設の整備による学童クラブ事業の開始に伴い、学童クラブ事業の実施場所を変更する
○利用者に使い勝手の良い諸室の設備
○神応保育園の園庭を外遊び場として開放
- 議案第11号 港区立障害者住宅条例

の一部を改正する条例

障害者住宅の車椅子対応の住戸を拡充するため、戸数を変更する

○今後の公営住宅の在り方を区として検討

●議案第13号 港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
「児童福祉法」及び「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正に伴い、規定を整備する

●議案第15号 港区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正に伴い、規定を整備する

○民法改正に伴い児童福祉法における措置延長の影響の有無

○障害児が通所支援等のサービス利用を延長する場合の規定

●議案第34号 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について

東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁方法の特例を定めるため、東

京都の区域内の全ての区市町村の協議により、東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する

○特別対策等にかかる東京都後期高齢者医療広域連合及び港区の負担金額
○港区の負担金額の算出方法

●議案第35号 港区国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険の保険料率等を改定するほか、「国民健康保険法施行令」の一部改正に伴う保険料の賦課限度額の変更、「国民健康保険法」の一部改正に伴う未就学児に係る均等割額の減額措置の導入及び「民法」の一部改正に伴う結核医療給付金の支給対象者の変更をする

○一般財源の投入金額の算定方法
○均等割額の値上げにより影響を受ける世帯の割合

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇令和3年度港区子育て世帯への臨時特別給付金の追加支給
- ◇(仮称)南青山一丁目高齢者福祉施設整備及び運営事業候補者の決定

建設

《令和4年第1回定例会》

- 議案第4号 港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例
「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」及び「租税特別措置法」の一部改正に伴い、手数料を新設するほか規定を整備する
○長期優良住宅の認定を取得する利点
○容積率の割増しによる高さ制限
- 議案第6号 港区道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例
固定資産税評価額の改定を踏まえ、道路占用料、公園占用料及び上下水道施設上部利用公園占用料を改定するとともに、令和4年度に限り引上率を緩

和する措置を定める

○道路占用料の積算額における公平性
○港区立上下水道施設上部利用公園条例の適用施設

●議案第8号 港区特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例

特定公共賃貸住宅シティハイツ竹芝の一部の住戸について、障害者住宅等に転用することに伴い戸数を変更するほか、特定公共賃貸住宅の高齢型住戸に係る使用申込者の資格を見直す

○申込み時の所得要件
○所得の下限の設定

●議案第9号 港区立住宅条例の一部を改正する条例

借上住宅事業の終了に伴い、規定を整備する

○借上住宅事業におけるメリット・デメリット
○入居者の退去の見通し

●議案第32号 指定管理者の指定について

西町つなぐ児童遊園の指定管理者を指定する

○地域の声を生かした児童遊園の管理運営
○新たな事業提案の有無

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇麻布十番一・二丁目道路整備工事(Ⅱ期)
- ◇東京都市計画住宅市街地の開発整備の方針(原案)

区民文教

《令和4年第1回定例会》

- 議案第7号 港区印鑑条例の一部を改正する条例
個人番号カードの利活用を推進するため、印鑑登録証明書の交付を申請する場合の要件を緩和する
○印鑑登録証明書の交付方法
○印鑑登録証明書の添付が必要な手続き
- 議案第16号 港区立学校設置条例の一部を改正する条例
港区立赤坂中学校等整備工事の一部が終了することに伴い、位置を変更する
○仮園舎及び仮校舎跡地の今後の利活用方法

●議案第17号 港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を踏まえ、幼稚園教育職員の仕事と不妊治療の両立を支援するため、不妊治療休暇を新設する

○対象となる幼稚園教育職員数、会計年度任用職員数及び講師数

○不妊治療休暇取得の際の職員のフォロー体制

閉会中の委員会活動

主な報告事項

- ◇中小企業の景況
- ◇家庭から排出される使用済みペットボトルの水平リサイクル



グランドプリンスホテル新高輪視察の様子

議案等の審議結果

令和3年第1回臨時会 案件名		各会派の態度									議決結果				
		自 民 党	政 策 会 議	み な と	議 公 明 党	議 共 産 党	ス ト の 会	都 民 フ ァ ィ	ミ ナ ト	街 づ くり		ス マ ィ ル 党	負 け な い 会	虚 偽 報 道 に 関 連 す る 会	
区長報告 第10号	専決処分について（令和3年度港区一般会計補正予算（第7号）） ●歳入歳出それぞれ9億5,227万9千円を追加し、総額をそれぞれ1,752億3,288万5千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
区長報告 第11号	専決処分について（損害賠償額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議案 第104号	令和3年度港区一般会計補正予算（第8号） ●歳入歳出それぞれ42億1,100万円を追加し、総額をそれぞれ1,794億4,388万5千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
令和4年第1回定例会 案件名		自 民 党	政 策 会 議	み な と	議 公 明 党	議 共 産 党	ス ト の 会	都 民 フ ァ ィ	ミ ナ ト	街 づ くり	ス マ ィ ル 党	負 け な い 会	虚 偽 報 道 に 関 連 す る 会	日 新 の 会	議決結果
区長報告 第1号	専決処分について（損害賠償額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第2号	専決処分について（損害賠償額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第3号	専決処分について（損害賠償額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第4号	専決処分について（損害賠償額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第5号	専決処分について（令和3年度港区一般会計補正予算（第9号）） ●歳入歳出それぞれ13億2,035万4千円を追加し、総額を1,807億6,423万9千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第6号	専決処分について（和解）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
区長報告 第7号	専決処分について（和解）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案 第1号	港区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第2号	港区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第3号	港区常勤の監査委員の給与等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第4号	港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第5号	災害時において応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第6号	港区道路占用料等徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第7号	港区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第8号	港区特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第9号	港区立住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第10号	港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第11号	港区立障害者住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第12号	港区立保育園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第13号	港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第14号	港区学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第15号	港区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第16号	港区立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第17号	港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第18号	港区監査委員条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第19号	令和3年度港区一般会計補正予算（第10号） ●歳入歳出それぞれ84億9,529万円を追加し、総額をそれぞれ1,892億5,952万9千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第20号	令和3年度港区国民健康保険事業会計補正予算（第4号） ●歳入歳出それぞれ6億7,333万7千円を追加し、総額をそれぞれ241億3,145万8千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第21号	令和3年度港区後期高齢者医療会計補正予算（第2号） ●歳入歳出それぞれ1億983万7千円を減額し、総額をそれぞれ56億4,378万5千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第22号	令和3年度港区介護保険会計補正予算（第4号） ●歳入歳出それぞれ1億498万9千円を減額し、総額をそれぞれ179億6,071万3千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第23号	令和4年度港区一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第24号	令和4年度港区国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第25号	令和4年度港区後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

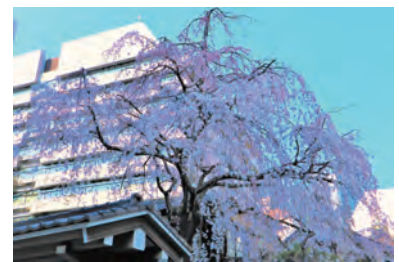
令和4年第1回定例会 案件名		議員 自民 団党	政策 委員 と	議員 明 団党	議員 共 産 団党	都民 ファ ース トの 会	街 づくり ミ ナ ト	スマ イル 党	虚偽 報道 に 負 け な い 会	維 新 の 会	日 本	議 決 結 果
議案 第26号	令和4年度港区介護保険会計予算	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第27号	工事請負契約の承認について（麻布十番一・二丁目道路整備工事（Ⅱ期））	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第28号	工事請負契約の承認について（北青山二丁目道路整備工事（歩道拡幅））	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第29号	工事請負契約の承認について（港区立北青山高齢者在宅サービスセンター等機械設備改修工事）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第30号	物品の購入について（港区立赤坂中学校什器等）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第31号	物品の購入について（港区立赤坂中学校ちゅう房機器）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第32号	指定管理者の指定について（港区立西町つなぐ児童遊園）	○	○	○	×	○	○	—	×	○	○	原案可決
議案 第33号	包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第34号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第35号	港区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第36号	港区監査委員の選任の同意について（有賀 謙二君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	同意
議案 第37号	人権擁護委員候補者の推薦について（村田 彰子君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第38号	人権擁護委員候補者の推薦について（藤本 和子君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第39号	人権擁護委員候補者の推薦について（竹内 陽治君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第40号	人権擁護委員候補者の推薦について（釋 美和子君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第41号	人権擁護委員候補者の推薦について（菊地 まゆみ君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第42号	人権擁護委員候補者の推薦について（島田 万里子君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
議案 第43号	人権擁護委員候補者の推薦について（内藤 恭三君）	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決

※スマイル党のマック赤坂議員は、3月15日開会の本会議を欠席したため、同日に採決した議案等について表決ができませんでした。

皆さんから提出された請願

継続審査とした請願

- ▼港区における特定遊興飲食店営業の指定地域追加願いに関する請願（令和元年6月20日受理）
- ▼羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート計画の撤回を含む再検討を国に求める請願（令和元年6月20日受理）
- ▼羽田空港新飛行経路の港区上空飛行に備えた港区航空事故災害対策計画の策定を求める請願（令和元年9月13日受理）
- ▼東京都市計画道路幹線街路環状第4号線にかかる港区立白金児童遊園敷地と港区立白金台幼稚園の敷地を東京都に譲渡しないで頂きたい事を求める請願（令和元年11月28日受理）
- ▼羽田新飛行経路の運用延期または再検討を求める請願（令和2年2月21日受理）
- ▼羽田空港新飛行ルートの見直しを国に求める請願（令和2年6月26日受理）
- ▼2030年CO2削減目標引き上げに関する請願（令和3年2月19日受理）
- ▼区有施設への再生可能エネルギー電気導入を求める請願（令和3年3月16日受理）
- ▼全国知事会が求める「米軍基地負担に関する提言」についての請願（令和3年6月10日受理）
- ▼騒音防止及び安全確保に関する請願（令和3年6月10日受理）
- ▼通学路安全確保に関する請願（令和3年6月10日受理）
- ▼港区赤坂7丁目計画に関する請願（令和3年9月10日受理）
- ▼区有施設へのEV充電設備設置を求める請願（令和3年9月10日受理）
- ▼庁有車への電気自動車（EV）導入を求める請願（令和3年11月26日受理）
- ▼港区児童相談所に関する請願（令和4年2月18日受理）



取り下げになった請願

- ▼「米軍ヘリポート基地に関する要請書」の停止を求める請願（令和4年2月18日受理 令和4年3月15日取り下げ）

特別委員会の活動記録

閉会中の主な報告事項

- 交通・環境等対策
 - ◇第11次港区交通安全計画（素案）
 - ◇東京都市計画事業泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業環境影響調査書案
- エレベーター等安全対策・新型コロナウイルス感染症対策
 - ◇区内感染者数の推移及びみなど保健所による主な取組状況
 - ◇新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況



米軍ヘリポート基地の撤去・返還を要請

港区には、23区で唯一、米軍基地があります。このため、港区民とりわけ近隣住民は、赤坂プレスセンター（港区六本木7丁目）にあるヘリポート基地の使用による騒音に悩まされ、事故発生の不安を常に抱えています。

令和4年2月8日、港区議会の清原和幸議長、なかまえ由紀副議長、各交渉会派の代表議員が、港区長とともに防衛省と東京都庁を訪れ、「米軍ヘリポート基地に関する要請書」を提出しました。



防衛省での要請行動の様子



東京都庁での要請行動の様子

エレベーターの安全に関する要望書を提出しました

区は、平成18年6月3日に発生したシティハイツ竹芝エレベーターの戸開走行事故を受け、事故原因の究明や区有施設の安全対策強化に努めてきました。

エレベーターの安全は、港区の区有施設だけではなく、全てのエレベーターにおいて実現されなければなりません。

このため、令和4年3月22日、区長、区議会議長、赤とんぼの会代表市川正子氏（エレベーター事故被害者遺族）の連名で、エレベーターの安全対策を一層推進されるよう要望しました。

【要望書の概要】

1. 戸開走行保護装置の設置促進
2. 平成21年9月28日前に設置された既設エレベーターに係る保守点検マニュアルの公表の義務化
3. エレベーター点検時の実測データや写真の保存の義務化

お見舞い

この間、世界各地において大規模な自然災害が発生しています。港区議会は、区内に所在し、様々な事業にご協力いただいている各大使館へ心からのお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。

❖ フィリピン共和国では、令和3年12月に上陸及び横断した台風により大きな被害を受けました。令和4年2月7日にフィリピン共和国のホセ カスティージョ ラウレル5世大使とつないだWeb会議において、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。また、後日、お見舞金をお送りしました。



❖ マラウイ共和国では、令和4年1月24日から25日の大雨により発生した洪水により大きな被害を受けました。死傷者を含む多数の被災者と物的被害が生じたことを受け、3月7日に表敬訪問で来庁されたクワチャ・チシザ大使へお見舞金をお渡ししました。



議員の住所・電話番号変更

① 電話番号の変更

清家 あい 電話番号：080-4866-7900

② 住所・電話番号の変更

横尾 俊成 住所：港区赤坂 2-17-64-504
電話番号：080-3003-0361

◆この「区議会だより」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ7駅、JR（浜松町・田町）2駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。

◆「区議会だより点字版」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。「声の区議会だより」はホームページにも掲載しています。

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

あしがき

令和4年第2回定例会は6月中旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 なかまえ 由紀

小倉 りえこ

兵藤 ゆうこ

なかね 大

熊田 ちづ子